

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科	科 目 区 分	その他	授業の方法	実習
科 目 名	地域在宅看護論実習Ⅱ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3学年	学期及び曜時限		教室名	各実習施設
担 当 教 員	田村 照子	実務経験と その関連資格	看護師		
《授業科目における学習内容》					
住み慣れた地域で療養する対象とその家族を総合的に理解し、望んでいる暮らしや生き方を尊重した看護を実践できる基礎的能力を養う					
《成績評価の方法と基準》					
【評価方法】地域在宅看護論実習Ⅱ評価表をもとに評価する 【評価基準】優:80点以上、良:70点以上80点未満、可:60点以上70点未満、不可:60点未満					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア メディカ出版 ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論② 地域療養を支える技術 メディカ出版 関連図で理化する財託看護過程 第2版 メヂカルフレンド社					
《授業外における学習方法》					
事前学習、課題学習を行う。					
《履修に当たっての留意点》					
臨床現場でしか学べない多くの知識・技術・態度を身につける機会です。実習をより実りあるものにする為に学内での授業・実習をしっかりと受講し、事前準備を万全にして臨んでください。また、在宅という場の違いを考え訪問マナーを遵守してください。					
実習プログラム					
実習期間 時間数	2026年 5月～10月 合計90時間				
実習の目的	1. 実習目的 住み慣れた地域で療養する対象とその家族を総合的に理解し、望んでいる暮らしや生き方を尊重した看護を実践できる 基礎的能力を養う 2. 実習目標 1)療養者を4側面(身体的側面、心理的側面、環境・生活面の側面、家族・介護状況の側面)から総合的に理解することができる。 2)生活の場に介入することの意味を考え、療養者・家族の生活を尊重した関りができる。 3)在宅療養に必要な援助や家族支援について考え、援助の見学・実施ができる。 4)地域での療養を支える保健・医療・福祉の役割と連携の実際が理解できる。				
実習の内容	1)療養者の特徴を4側面(身体的側面、心理的側面、環境・生活の側面、家族・介護状況の側面)から捉える。 2)療養者・家族の生活上の望みを捉え、療養上の課題を明確にする。 3)在宅看護の特徴をふまえ、療養者・家族の思いに関心を寄せて関わる。 4)訪問先で主体的に援助を見学・一部実施し、振り返り、考察する。 5)療養生活を継続するための家族支援について考える。 6)在宅療養におけるリスクマネジメントの実際を見学する。 7)受け持ち療養者が利用していた社会資源、関連機関、関連職種を調べる。 8)多職種と連携・協働する上での看護師の役割を考える。				